

東日本大震災後の LNG 輸入量の変化と国際 LNG 価格

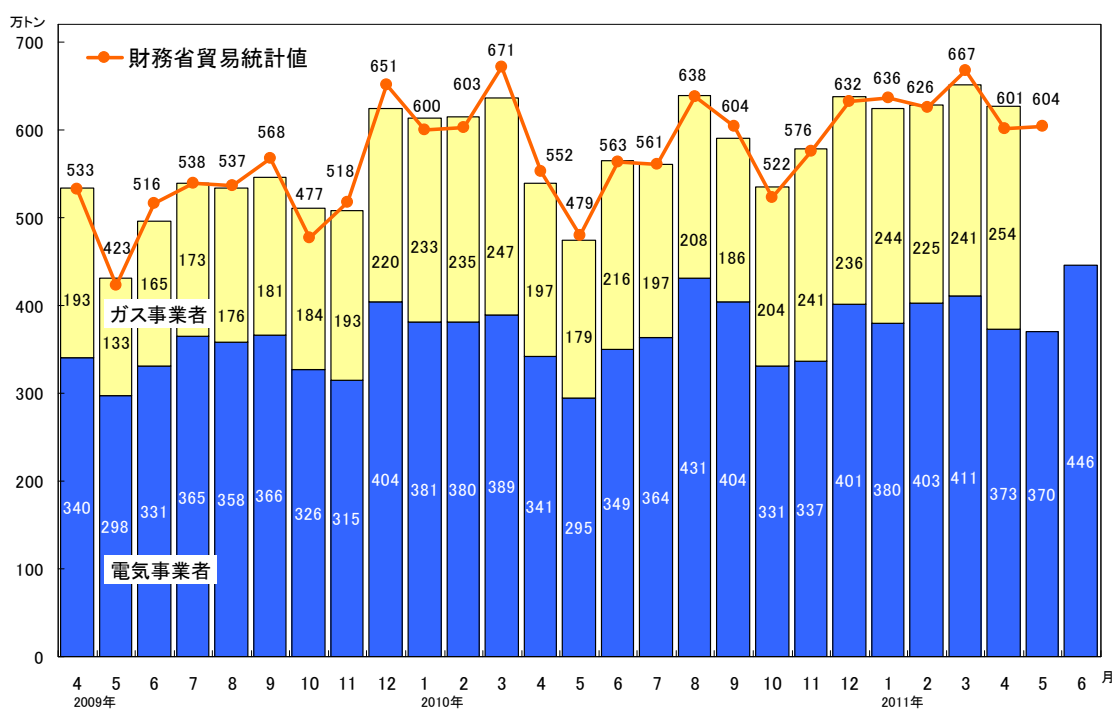
石油・ガスユニット ガスグループ 研究員 鈴木健吾・居石裕幸・小山司

東日本大震災後、原子力発電所の運転停止などの影響により、2011 年度の日本の LNG 輸入量が大幅に増加することが見込まれている。本稿では、現時点で発表されている統計に基づいて、東日本大震災後の LNG 輸入量及び国際 LNG 価格への影響を分析する。

1. LNG 輸入量の推移

財務省発表の「貿易統計」と資源エネルギー庁発表の「統計情報」をもとに日本の LNG 輸入量の推移（ガス・電気事業者別の LNG 受入量の推移を含む）をまとめた（図表 1）。2011 年 4 月の LNG 輸入量は 601 万トン（前年同月比 8.8%増）、同 5 月は 604 万トン（前年同月比 26.0%増）と 2 ヶ月連続で大幅な増加を見せている。

図表 1 日本の LNG 輸入量の推移



出所:財務省「貿易統計」、資源エネルギー庁「統計情報」より作成¹

2011 年 4～6 月期の GDP 成長率がマイナスになる可能性が高い中、LNG 需要が増加している背景には、言うまでもなく電力不足回避のための LNG 追加調達がある。2011 年の 4～6 月

¹ 2011 年 5 月、6 月分電気事業者用のみ電気事業連合会「受発電・燃料実績速報」より作成
ガス事業者用は未発表のため記載なし

の電力事業者のLNG受入量を前年同月と比較すると、4月は32万トン、5月は71万トン、6月は97万トン増加している。

2. LNGの調達先について

東日本大震災後、ロシア、インドネシア、カタールなどがLNG追加供給への支援を表明している²³⁴。各国からの輸入実績を見ると、2011年3月にマレーシアからのLNG輸入量が過去最大の156.1万トンを記録したのに続き、同4月にはカタール、ロシアからのLNG輸入量が過去最大の99.7万トン、72.4万トンを記録している。(図表2)

図表2 日本のLNGの輸入先と輸入量の推移

(単位:万トン)

輸 入 先	2010年										2011年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
マレーシア	110.2	110.1	104.5	105.2	113.3	129.3	114.9	106.3	137.8	142.2	131.9	156.1	136.2	110.9	
ブルネイ	42.9	52.2	33.1	52.8	55.3	49.3	52.8	36.8	52.1	59.4	45.3	62.0	52.0	45.9	
インドネシア	102.6	104.6	102.8	113.6	115.0	108.6	96.4	92.8	121.8	110.0	115.5	109.3	78.1	75.9	
カタール	63.5	39.1	63.4	56.7	68.6	65.7	51.3	71.0	65.2	76.6	74.3	76.7	99.7	68.3	
オマーン	25.6	12.8	31.5	18.8	24.7	19.5	13.2	19.1	25.5	31.8	18.6	24.9	31.8	31.9	
アラブ首長国連邦	42.5	42.4	55.0	30.3	49.1	36.5	36.5	42.8	42.0	42.4	42.4	46.6	30.6	42.2	
イエメン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ロシア	46.3	33.9	70.7	45.5	59.5	52.9	45.5	40.1	52.1	39.5	65.2	46.6	72.4	65.5	
アメリカ合衆国	3.5	3.6	7.1	3.6	7.1	3.6	7.1	3.6	3.5	2.5	3.4	7.1	0.0	3.5	
トリニダード・トバゴ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	5.0	0.0	
ペルー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1	
エジプト	0.0	11.9	0.0	6.2	6.0	6.3	0.0	6.3	5.9	6.1	5.8	0.0	5.7	11.7	
ナイジェリア	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	22.7	5.3	17.3	6.0	0.0	6.3	12.0	0.0	17.8	
赤道ギニア	5.8	0.0	0.0	0.0	12.1	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	
オーストラリア	109.3	68.6	94.9	127.9	121.5	97.9	93.7	133.8	120.0	125.2	111.5	120.5	89.3	117.0	
合 計	552.2	479.1	563.0	560.8	638.2	604.2	522.1	575.6	631.9	635.7	626.1	667.4	600.9	603.9	

出所:財務省「貿易統計」より作成

また、2011年5月には、これまで輸入実績のなかったペルー産LNGが東京電力富津LNG基地に荷揚げされた⁵。この他、トリニダード・トバゴ、エジプト、ナイジェリアなど、日本のガス・電気事業者とLNGの長期購入契約を締結していないプロジェクトからの調達も少量ではあるが見受けられる。

しかし、全体としては、各国の支援もあり、長期購入契約のUQT⁶などを最大限駆使し、比

² Qatargas Press Releases 2011年4月16日

³ 日本経済新聞「ロシア、LNG10万トン緊急支援 副首相表明」2011年3月23日

⁴ 日本経済新聞「インドネシア東電・東北電にLNG火力発電用、まず40万トン」、2011年4月20日

⁵ The TEX Report、「東京電力がペルー産LNGをスポット輸入」、2011年5月10日

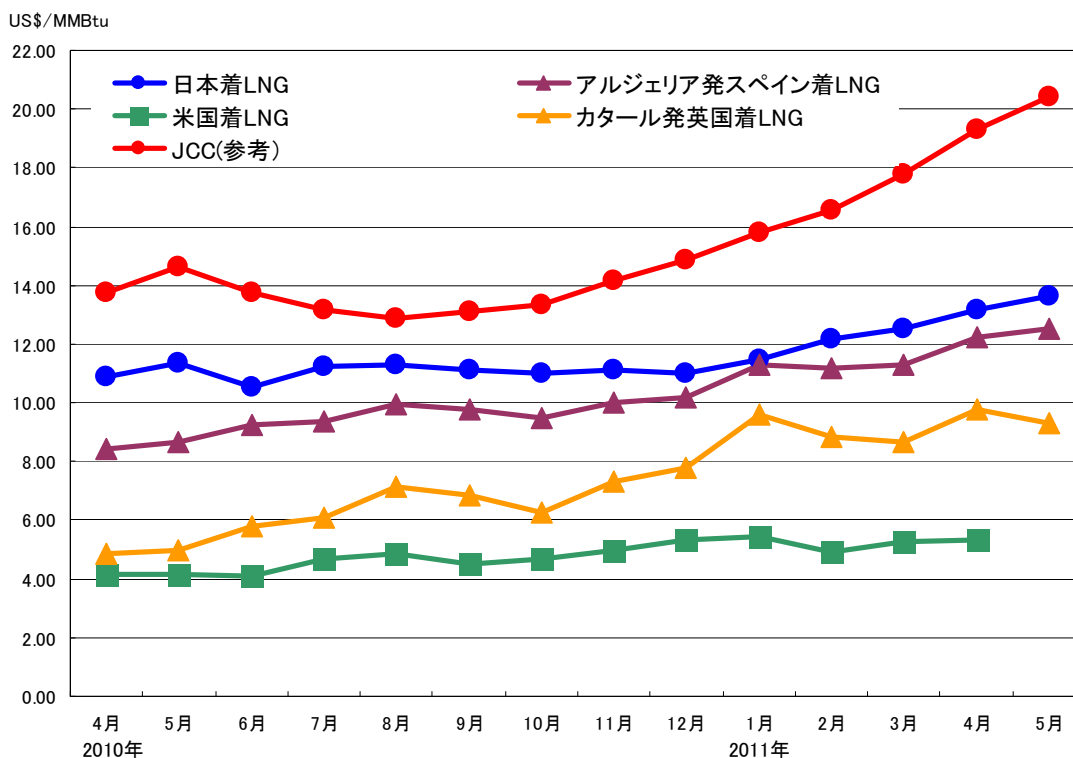
⁶ Upward Quantity Tolerance (上方弾性力。LNGの長期契約では、通常、契約量に対して5~10%程度の引取り量の増加が可能とされる。)

較的安定した状態でLNGの追加調達が行なわれている。

3. LNG 輸入価格について

日本のLNGの輸入平均価格を見ると、2011年4月は56,183円/トン(\$13.14/MMBtu)、2011年5月は57,417円/トン(\$13.66/MMBtu)となっており、2011年に入って上昇傾向にある。日本のLNG調達は、長期契約によるものが大半を占めており、契約価格は、通常、日本着の原油価格(JCC: Japan Crude Cocktail)にリンクしている。従って、現在のLNG輸入価格の上昇傾向には、世界的な原油高の影響が大きいといえる。一方、5月デリバリー分のスポット価格は輸入平均価格を下回っていると推測され⁷。世界的なLNGのスポット価格は、震災後上昇傾向にあるものの、追加調達量を考慮すれば、比較的落ち着いた値動きといえる。天然ガス需給が緩和している米国では輸入価格にほとんど変化がなく、英国向けも多少の値上がり傾向はあるが落ち着いた値動きを示している。アルジェリアからスペイン向けのLNG供給価格は、米英向け価格よりも高いレベルにあるが、これは価格決定方式が基本的に石油リンクだからである。

図表3 地域別 LNG 輸入価格の推移



出所:財務省「貿易統計」、EIA「Natural Gas Monthly」、World Gas Intelligence より作成

⁷ スポット契約締結からデリバリーまで1ヵ月程度を要することを考慮すれば、5月入着分のスポットLNGは4月前後に契約したものと考えられる、4月時点のスポット価格は\$11.95~12.10/MMBtuと推測されており(World Gas Intelligence 2011年4月各号)、5月の日本平均輸入価格(\$13.66/MMBtu)を下回る。

4. まとめ

現時点で発表されている統計で見ると、東日本大地震以降の LNG 輸入量は例年より増加しており、特に電気事業者の受入量は月間 30～100 万トンと大幅な増加となっている。電力不足回避のため、7 月以降もこの増加傾向が続くものと予想される。長期購入契約の UQT、短期購入契約やスポットでの調達などを駆使し、各電力会社はひとまず夏季需要分を確保したとされている。

日本向け LNG 価格は 2011 年に入ってから上昇傾向があるが、これは主として原油価格の上昇に伴うものである。国際 LNG 価格は震災後上昇傾向にあるものの、震災の影響による追加調達量の大きさを考慮すれば、今のところ落ち着いた値動きを見せている。これは、カタールを中心とした余剰生産能力の巨大さの反映と解釈することが可能である⁸。但し、世界的にガスの需要が高まる冬季においては、寒波やインフラ事故でスポット価格が高騰する可能性は排除出来ず、現在の状況が継続するとは限らない。今後も適宜報告を行っていきたい。

お問い合わせ : report@tky.ieej.or.jp

⁸ 同国の余剰生産能力が生じた主たる原因の一つとして米国でのシェールガス増産があることを勘案すれば、日本は間接的にシェールガスの恩恵を受けているとも言える。